

情報連絡員だより

－平成 28 年 2 月分の報告より－

国内・中国向けともに  
売上低迷で苦戦が続く

業 種 / 景 況 天 気 図		概 況
全 体		国内は売上低迷で苦戦が続く中、年始からの円高による為替差損の発生や中国向けの輸出減少などの海外要因の影響もあり、収益状況の悪化が懸念される。また、日銀マイナス金利導入には不安の声も散見。
製 造 業	食 料 品	パンは学校給食用パンの減少が続き、全体的にも稼働時間が短く、労働者が減少傾向。製麺は大手の寡占化が深刻で厳しさ続く。酒造は純米酒・吟醸酒の売上は増加するが、本醸造酒・普通酒の落ち込みが大きい
	織 維 ・ 同 製 品	桐生織物は中国の旧正月が終わり、中国向けの輸出品に一服感がある。伊勢崎織物は「群馬繊維製品宣伝会」を熊本市の百貨店で開催したが、売上減少傾向。繊維製品は各メーカー販売不振で全体的に売上減少。
	窯 業 ・ 土 石 製 品	生コンは全県的に需要減少の中、1月の雪による減少分も戻らず、厳しい状況。コンクリートブロックは輸入商材の値上がり分を、エネルギーコストの低下で吸収。砕石は東毛・渋川地域では販売価格は上昇傾向。
	機 械 ・ 金 属	年始からの円高により為替差損が生じ、収益に影響を受ける企業が散見される。建設機械は生産が激減し、特に中国向けの輸出が落ち込む。また、コストダウン要請は続き、雇用維持も困難な状況。
	そ の 他 の 製 造 業	紙加工品は観光地関連に落ち着きが見られ、全体的な景況感は厳しさが続く。印刷は受注減少が続き、固定費削減により経営を維持している状況。ゴムは企業間格差が見られ、総じて弱含みの状況で力強さに欠ける。
非 製 造 業	卸 売 業	高崎卸団地は「問屋街わけあり大処分市」を開催、来場者約 3,700 人とにぎわう。ユニフォーム卸売は中国の動向を注視する中、上海に加え、ベトナム進出。水産物卸売は利益率の低下により利益確保に苦慮。
	小 売 業	燃料小売は販売価格が前年比 30 円/ℓ 程度の下落に加え、需要減少も止まらず。生花小売は「フラワーバレンタイン」の浸透を図っており、今後の展開を思案中。商店街は冬物バーゲン最終時期だが動きが悪い。
	サ ー ビ ス 業	草津温泉は中国人の入込みが非常に多く目立ったが、キャンセル率も高く、事前決済制度等、今後の対応を検討中。不動産取引は高崎のコンベンション施設の建設決定等を受け、駅前のホテル関連取引の問い合わせが増加。
	建 設 業	建設工事は公共工事に加え、民間需要も受注が停滞気味。塗装工事は小規模物件が多く売上減少するも、収益性の低い突貫工事の減少で収益は例年並みに推移。鉄構は夏以降の見積もり物件は増加傾向。
	運 輸 業	自動車は富士重工関連以外の動きが悪く、一部メーカーの工場停止の影響も響く。また、運転手不足により今後の荷量増加時の対応を懸念。小口輸送は建設現場の荷役作業が増加し、引越し・ひな人形の輸送は減少。